

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

対馬各地の地名

今回も前号に引き続き対馬の地名で、室町時代以降定着した「二郡八郷」の下県郡四郷の由来についてご紹介いたします。



呼ぶようになったとされています。

【与良郷】

『津島紀事』によると「与良」とは海の神綿津見神の娘豊玉姫に由来すると伝えられています。豊玉姫は崩御される直前、自身を筑紫が見える場所に葬ってほしいと言われたため、下島東海岸の宝満山（厳原町）に葬られましたが、その場所を「与良御祖の神」と称したこと、この地を「与良」と呼ぶようになったとされています。

【豆酸郷】

『津島紀事』によると、この地が肥前地域と相対する場所に位置し、九州本土との往来に適した「津（港）」であることから「津島の津浦」と呼び、転じて「つつ」と呼ぶようになったと伝えられています。ちなみに「豆酸」という表記については、この地が国府からみた西の方角（西の方角）にあることから、これを用いたという説もあります。

【佐須郷】

『津島紀事』によると、その語源は「砂州」とされています。

【参考文献】

『津島紀事』：江戸時代後期の文化六年（一八〇九）に成立した地誌。著者は平山東山。
※このほか『新対馬島誌』『豊玉町誌』『美津島町誌』『厳原町誌』『大漢和辞典』『藤井郷石』『対馬の地名とその由来』などを参照。

【仁位郷】
『津島紀事』によると、古くは「瓊ノ郡」と呼ばれていました。この「瓊」という字は「に」や「たま」とも読みます。この「たま」は、和都美神社の由緒にも登場する、海の神綿津見神が山幸彦へ潮の干満を司る二つの「瓊（玉）」を送ったという神話に由来しています。この「瓊」が転じて「瓊ノ郡」と呼ぶようになり、さらに転じて「仁位」と

この地には深い入江で大きな浦があったとされており、この浦に海の潮夕効果で砂礫が集められ、雨水の運搬効果で川の土砂が流し集められ、

これらが積もった「砂州」による広い平野が形成されたことから、この地を「さす」と呼ぶようになったとされています。

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

●本屋大賞・ノミネート

2013年の本屋大賞・ノミネートの本の貸出ができます。

●図書ボランティア募集!

つしま図書館では、随時ボランティアさんの募集を行っています。興味のある方は、ぜひカウンターまでお願いします。

6月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

今月のおすすめ新着本

『パッチワークのベビーグッズ』

パッチワーク通信社／編

ベビーシューズ・ボンネット・マザーズバッグ・抱っこひもカバーなど。パッチワークで作る、かわいいママ&ベビーグッズを紹介。一部作品は写真による作り方解説付き。

『ペットと泊まる宿 2014~15年版』

峰村 均／編

家族みんなでペットと一緒に旅行が出来たらいいな～!そんな夢を叶えてくれる、ペット連れでも安心して泊まれるペンション・ホテル・旅館380軒を掲載。北海道から九州まで収録した全国版。

『春、戻る』

瀬尾 まいこ／著

正体不明、明らかに年下。なのに「お兄ちゃん」!?結婚を控えた私の前に現れた謎の青年。その正体と目的は?人生で一番大切なことを教えてくれる、ウェディング・ストーリー。

『海の島』

アニカ・トール／著

第2次世界大戦初期。オーストリアからスウェーデンへやってきた500人の幼い子供たち。異国の地でふたりの姉妹の生活と、人々との交流の1年を描く。

『しりとりしましょ! たべものあいうえお』

さいとう しのぶ／著

しりとりしましょ!「あ」から「ほ」まで歌いながら遊べるよ。「ん」がつく食べものが出たら「しりとり番犬」に逮捕されちゃうよ。

『おばあちゃんすごい!』

中川 ひろたか／著

「ひろたかなり」っていう子どもを探して園にやって来た。けん玉・お手玉、何でも上手なおばあちゃんは、みんなと一緒に散歩にも行きました。そこに園長先生がやってきて…。